

京都市・乙訓地域公立高等学校設置状況

(平成23年度)

京都市北通学圏

北区、上京区、左京区、中京区、
下京区(松原中学校区に限る)、
右京区(周山中学校区を除く)、
西京区



京都市南通学圏

東山区、山科区、下京区(松原中学校区を除く)、
南区、伏見区、向日市、長岡京市、大山崎町、
八幡市(八幡長町、八幡樋ノ口及び川口高原に限る)、
久御山町(大橋辺に限る)

京都市・乙訓地域公立高校教育制度の主な改善経過 [全日制]

	主な学科改編等	入学者選抜制度
60	<p>■普通科に類・類型制度導入</p> <p>[学校新設]府立商業高（経理科、情報処理科、流通経済科、国際経済科）</p>	<p>■普通科に9通学圏設定 （京都市北・南・東・西通学圏+他5通学圏） [希望校入学枠]第Ⅱ類：募集定員の30% 第Ⅰ類：募集定員の10%</p>
3	<p>[改編]府立桂高（農業科、園芸科） →植物クリエイイト科、園芸ビジネス科</p>	<p>・第Ⅱ類の希望校入学枠：30%→50%</p>
5	<p>[新設]市立紫野高（第Ⅲ類英文系）</p>	<p>・第Ⅱ類の希望校入学枠：50%→100% ・第Ⅲ類の通学区域を改正（京都市4通学圏で相互に調整：20人以内）</p>
7	<p>[新設]市立日吉ヶ丘高（英語科）</p>	<p>・第Ⅰ類の希望校入学枠：10%→20%</p>
8	<p>[新設]府立嵯峨野高（京都こすもす科）</p>	
9	<p>[学校新設]市立音楽高（←市立堀川高 音楽科） [改編]府立商業高（経理科）→会計科</p>	
11	<p>[新設]市立堀川高（人間探究・自然探究科）</p>	<p>・第Ⅲ類の通学区域を拡大（府内全域で相互に調整）</p>
15	<p>[改称]市立西京商業高→市立西京高 （エンタープライジング科） [改称]府立商業高→府立京都すばる高 （会計科、企画科、情報科学科）</p>	<p>・第Ⅱ類を単独選抜化 ・市立紫野高（第Ⅲ類英文系）の通学区域を市内4通学圏に拡大</p>
16	<p>[改編]府立洛東高（第Ⅱ類）→総合選択制 [改編]市立銅駝美工高（美術工芸8科） →美術工芸科 [学校新設]府立洛北高附属中<中高一貫校> 市立西京高附属中<中高一貫校></p>	
18	<p>[新設]府立桃山高（自然科学科）</p>	
19	<p>[新設]府立山城高（文理総合科） 市立塔南高（教育みらい科） [改編]市立洛陽工高（京都伝統産業科、環境科学科、電気科、電子通信科、電子情報科、生産技術科、電子機械科）→創造技術科 市立伏見工高（機械科、建築科、建築工学科、産業デザイン科、総合技術科） →システム工学科</p>	
20		<p>・市立日吉ヶ丘高（英語科）の通学区域を府内全域に拡大</p>
21	<p>[新設]府立京都すばる高（ビジネス探求科） [改編]市立日吉ヶ丘高（英語科） →国際コミュニケーション科</p>	<p>・第Ⅰ類に特色選抜を導入（募集定員の10%） ・一般選抜において第Ⅱ類はどの学校でも志願可とした。（他圏から入学できるのは定員の50%以内） ・一般選抜の部特活（第Ⅰ類）希望枠を北・南通学圏のどの学校でも志願可とした。 ・通学区域を4通学圏から2通学圏に再編</p>
22	<p>[新設]府立乙訓高（スポーツ健康科学科）</p>	
23	<p>[改称]市立音楽→市立京都堀川音楽高</p>	
24		<p>・第Ⅰ類の特色選抜枠：10%→15%</p>

山城・口丹・中丹・丹後通学圏府立高校教育制度の主な改善経過 [全日制]

	主な学科改編等	入学者選抜制度
60	■普通科に類・類型制度導入	■普通科に9通学圏設定 (山城北通学圏、山城南通学圏、口丹通学圏、 中丹通学圏、丹後通学圏+京都市4通学圏) [希望校入学枠] 第Ⅱ類：山城 ……募集定員の30% 口丹・中丹・丹後 …… “ 50% 第Ⅰ類：山城・口丹・中丹・丹後… “ 5%
61	[学校新設]南陽高(普通科第Ⅰ類・第Ⅱ類)	
63		・第Ⅱ類の希望校入学枠：山城 30%→50% ・第Ⅰ類の希望校入学枠： 山城・口丹・中丹・丹後：5%→10%
元	[新設]大江高(ソフト経済科)	
2	[改称]工業高(機械プログラミング科、生産システム科、 電気エネルギー科、電子コミュニケーション科、 情報システム科) 海洋高(海洋生産科、マリン技術科、 水産経済科)	・第Ⅰ類の希望校入学枠：山城 10%→20% ・久御山高・西城陽高(第Ⅲ類)の通学区域を 山城北・南通学圏に拡大
3	[新設]南丹高(第Ⅱ類英語系) [改編]南八幡高(商業科)・南丹高(商業科) →オフィス情報科、流通マネジメント科	・第Ⅱ類の希望校入学枠：山城 50%→100%
5	[改編]木津高(農業科、園芸科) →システム園芸科 (商業科) →情報企画科 北桑田高(林業科) →森林リサーチ科	
6	[改編]須知高(農業畜産科)→食品科学科 農芸高(農業経営科、造園土木科、生活科) →農産バイオ科、環境緑地科 峰山高(機械科) →機械システム科 (繊維工業科)→繊維デザイン科 網野高(商業科) →企画経営科	
7	[新設]東宇治高(第Ⅱ類英語系)	・第Ⅰ類の希望校入学枠： 中丹・丹後：10%→20% 山城：20%→30%
8	[改編]西宇治高(普通科)：学年制→単位制	
10	[新設]園部高(京都国際・福祉科) 久美浜高(総合学科)	
11		・第Ⅲ類の通学区域の拡大(府内全域で相互に 調整)
14		・山城北・南通学圏の第Ⅱ類を単独選抜化
15	[改編]南八幡高(普通科第Ⅰ・Ⅱ類) →普通科総合選択制 [改編]海洋高(海洋生産科、マリン技術科、水 産経済科)→海洋科学科、海洋工学科、 海洋資源科	・第Ⅱ類の希望校入学枠：丹後 50%→100%

	主な学科改編等	入学者選抜制度
16	[新設]南丹高(総合学科)	<ul style="list-style-type: none"> ・山城北・南通学圏を統合(山城通学圏) ・山城通学圏の第Ⅰ類を単独選抜化 ・山城通学圏の普通科に特色選抜を新設(募集定員の10%)
18	[新設]南陽高(サイエンスリサーチ科) 亀岡高(数理科学科) 西舞鶴高(理数探究科) [改編]大江高(ソフト経済科)→ビジネス科学科 (普通科第Ⅰ・Ⅱ類) →普通科総合選択制 八幡高(普通科第Ⅰ・Ⅱ類) →普通科総合選択制 [学校新設]園部高附属中<中高一貫校>	<ul style="list-style-type: none"> ・口丹・中丹・丹後通学圏の普通科に特色選抜を導入(3通学圏のどの学校でも志願可) ・第Ⅱ類の希望校入学枠:中丹 50%→100% ・第Ⅰ類の希望校入学枠: 中丹・丹後 20%→30%
19	[学校新設]京都八幡高 (普通科総合選択制・人間環境科) [新設]城南高(教養科学科) 福知山高(文理科学科) [改編]園部高(京都国際・福祉科) →京都国際科 田辺高(機械科、自動車科、電気科、 電子科)→工業技術科、自動車科	
21	[学校新設]城南菱創高(普通科・教養科学科) [改編]京都八幡高(人間環境科) →介護福祉科、人間科学科 峰山高(機械システム科、繊維デザイン科) →産業工学科	
22		<ul style="list-style-type: none"> ・普通科の希望校入学枠 口丹 : 第Ⅰ類・第Ⅱ類合わせて20% 中丹・丹後: 第Ⅰ類・第Ⅱ類合わせて50%
23	[改編]山城: 普通科 類・類型制度の発展的解消	<ul style="list-style-type: none"> ・東宇治高の特色選抜枠:10%→20%
24	[改編]口丹・中丹・丹後: 普通科 類・類型制度の発展的解消	<ul style="list-style-type: none"> ・山城通学圏の特色選抜枠:10%→20%

公立高校の授業料無償化及び高等学校等就学支援金について

(文部科学省HPより)

【制度の趣旨】

今日、高等学校等は、その進学率が約98%に達し、国民的な教育機関となっており、その教育の効果が広く社会に還元されていることから、高等学校等の教育に係る費用について社会全体で負担していくことが要請されています。

また、高等学校等については、家庭の経済状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して教育を受けることができるよう、家庭の経済的負担の軽減を図ることが喫緊の課題となっています。

さらに、諸外国では多くの国で後期中等教育を無償としており、経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約においても、中等教育における無償教育の漸進的な導入について規定されているなど、高等学校の無償化は、国際的な状況に照らして一般的なものと考えられます。

本制度は、このような観点から、ひとりひとりの学ぶ機会を社会全体で支え、助け合っていく社会を目指してスタートしました。[平成22年4月～]

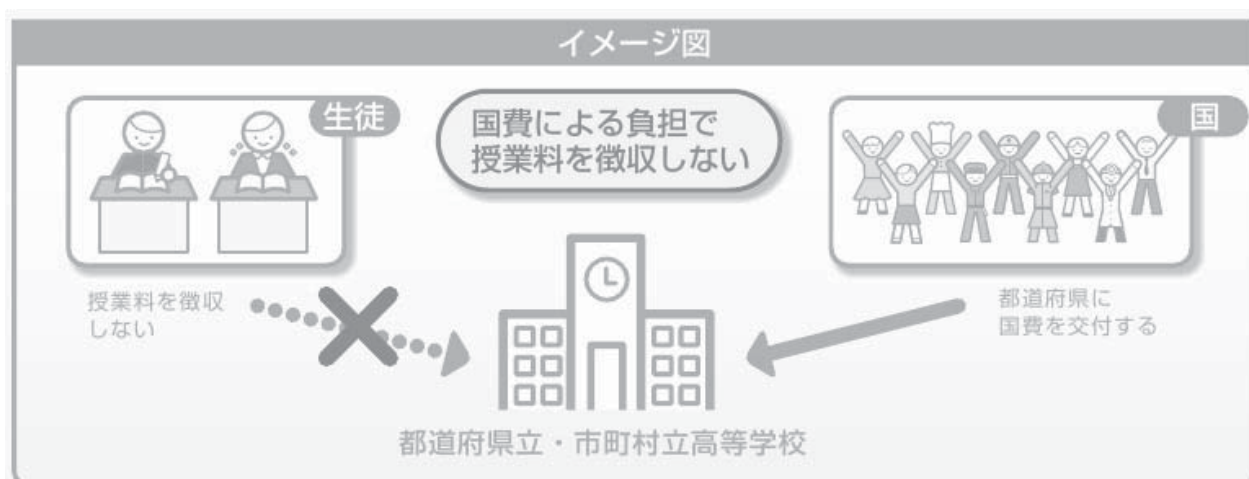
【制度の概要】

具体的には、公立高等学校については、原則として授業料を徴収しないこととし、これに伴って要する経費を国から地方公共団体に対して交付します。

また、私立高等学校等の生徒については、就学支援金として授業料に充てるために一定額(118,800円。低所得世帯の生徒については1.5～2倍した額)を支給します。その際、簡便かつ確実に授業料負担を軽減できるように、学校が生徒本人や保護者に代わって受け取り、授業料の一部と相殺することとしています。さらに、国の支援に加えて、各都道府県の取組により、今まで以上の手厚い支援が行われることとなります。

■公立高等学校の授業料無償化の趣旨

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、公立高等学校の授業料を無償とし、家庭の教育費負担を軽減します。



■高等学校等就学支援金制度の趣旨

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、国立・私立高校等の生徒の授業料に充てる高等学校等就学支援金を創設し、家庭の教育費負担を軽減します。

高等学校等就学支援金の支給額は、月額9,900円（年額118,800円）です。

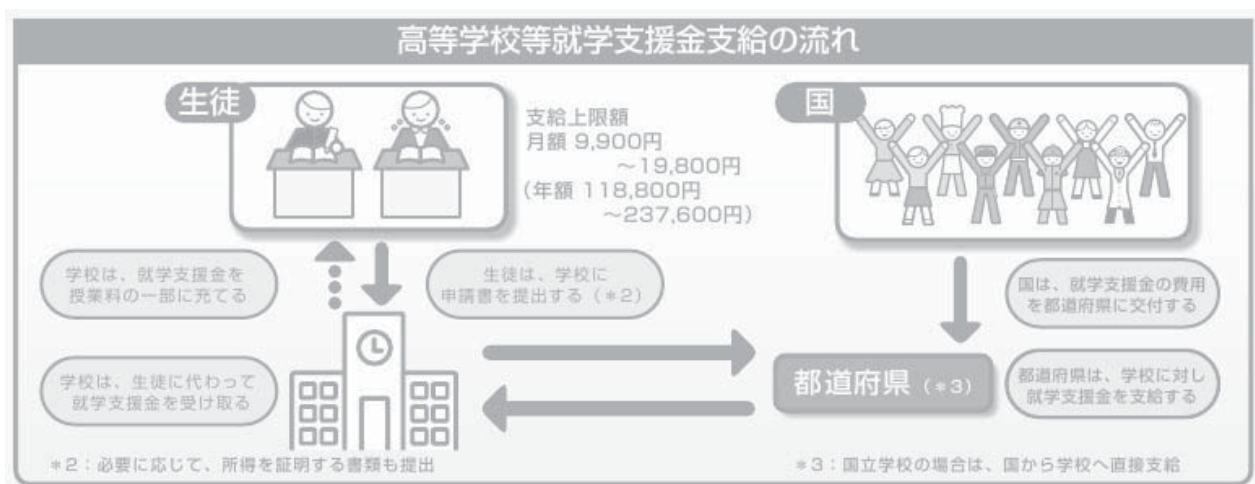
また、保護者の所得によって、さらに加算される場合があります。

<支給対象者>

国立・私立高等学校（全日制、定時制、通信制）及び下記の学校に在学の方が対象になります。

- 国私立中等教育学校の後期課程
- 国私立特別支援学校の高等部
- 高等専門学校（第1学年から第3学年までに限る）
- 専修学校などのうち、高等学校の課程に類する課程を置くもの(*1)

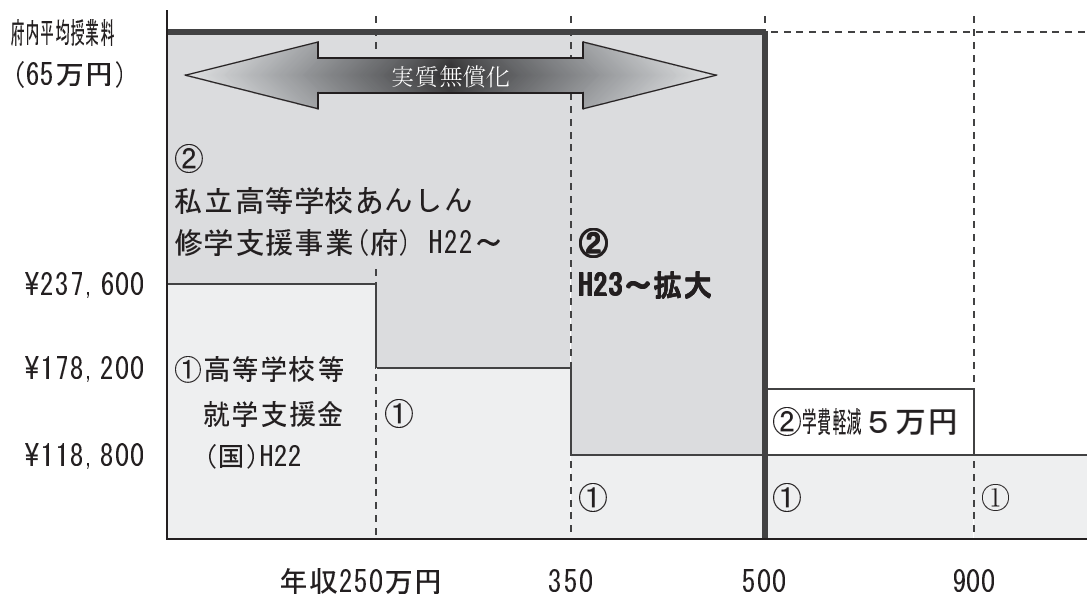
*1：対象となる学校については、文部科学省令で定めることになります。



京都府の「私立高等学校あんしん修学支援制度」について

□概要：修学の意志のある私立高校生が安心して勉学に打ち込めるよう、各私立高校の協力を得ながら保護者の教育費負担を軽減します。

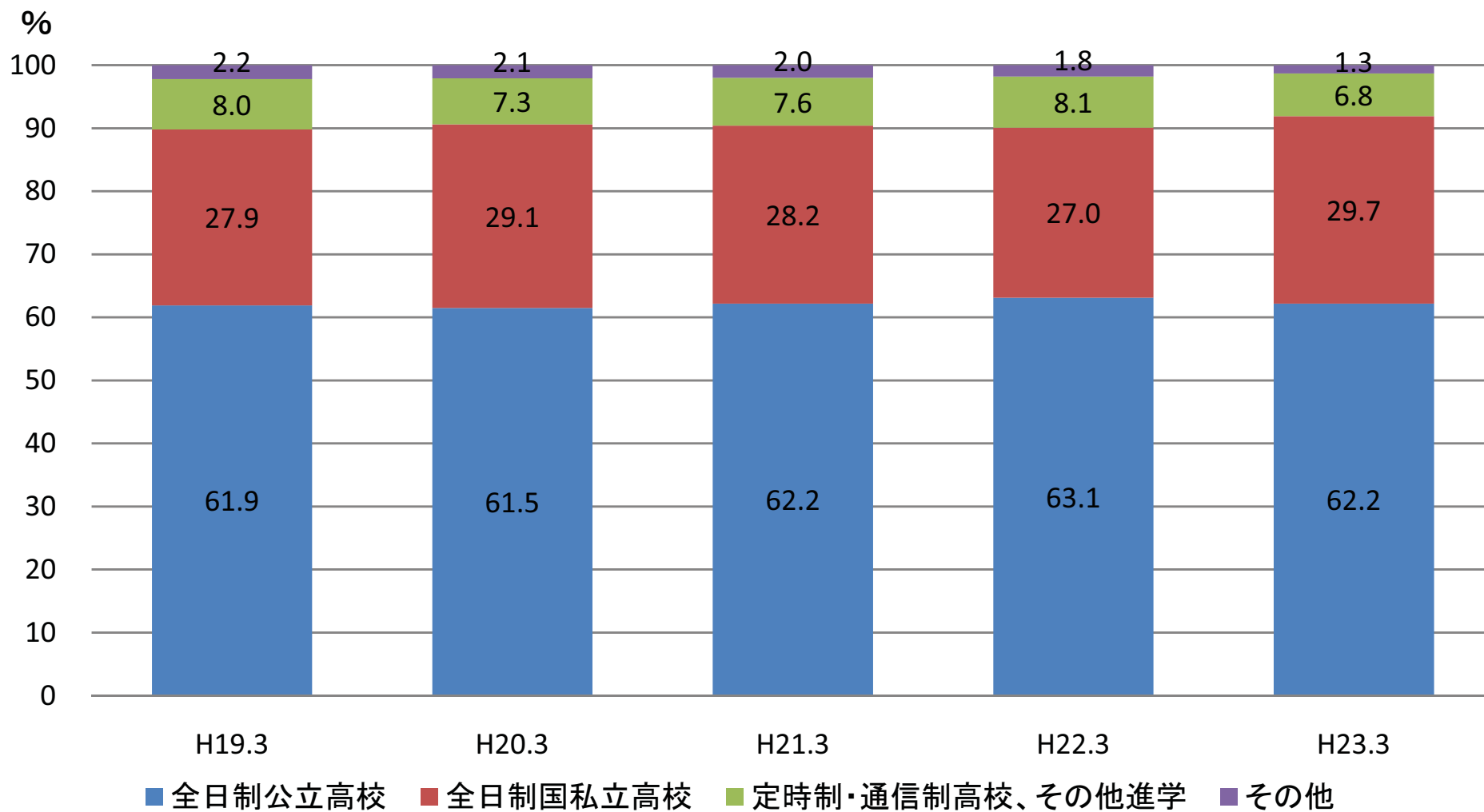
□対象者：府内の私立高等学校に在籍する京都府民の生徒
 （高等学校等就学支援金（国制度）については、京都府民以外の生徒も対象）



【参 考】

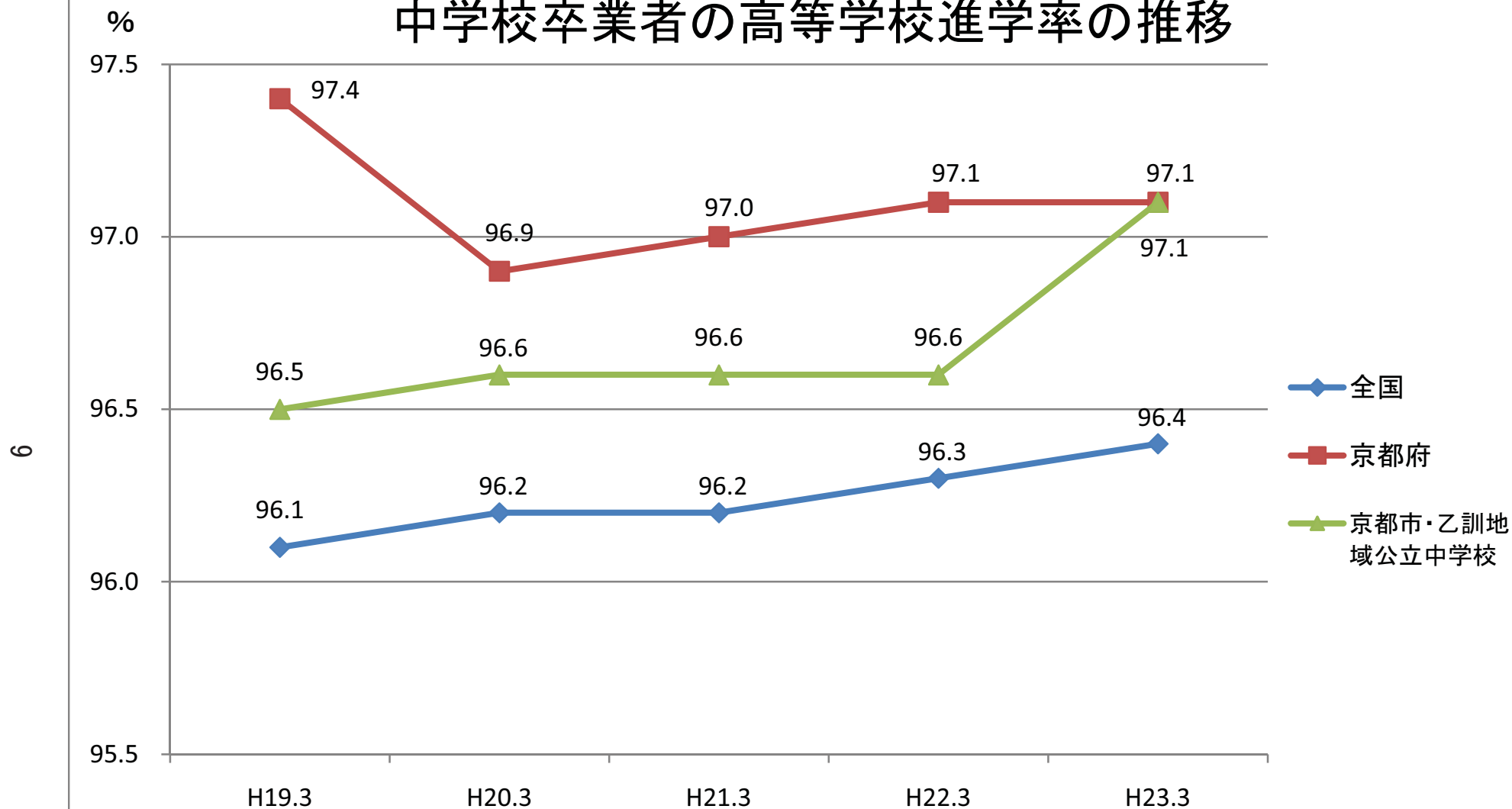
支 援 者	国	京都府	大阪府
制 度 名	就学支援制度	私立高等学校あんしん修学支援制度	私立高等学校等授業料支援補助金制度
対 象 者	私立高校に在籍する全生徒	京都府内の私立高校に在籍する府民の生徒	①生徒・保護者が大阪府内に住所を有する者 ②知事が指定する「就学支援推進校」就学者 ③国の就学支援金の交付対象者
平均授業料	—	650,000円	580,000円
生活保護世帯 年収250万円未満	237,600円	<授業料全額無償化>	<授業料全額無償化>
年収350万円未満	178,200円	国の制度と府平均授業料の差額を補助	・国の制度と府平均授業料の差額を補助
年収500万円未満	118,800円	定額50,000円 (学費軽減補助) + 118,800円	・府平均授業料を超える額は学校負担
年収610万円未満			・480,000円（国の制度含む）
年収800万円未満			・府平均授業料を超える額は学校負担
年収900万円未満		[国制度のみ]	[国制度のみ]
年収900万円以上		[国制度のみ]	

京都市・乙訓地域公立中学校卒業者の進路状況



注 H23.3については、速報値である。
 学校基本調査(京都府教委HPより抜粋)

中学校卒業者の高等学校進学率の推移



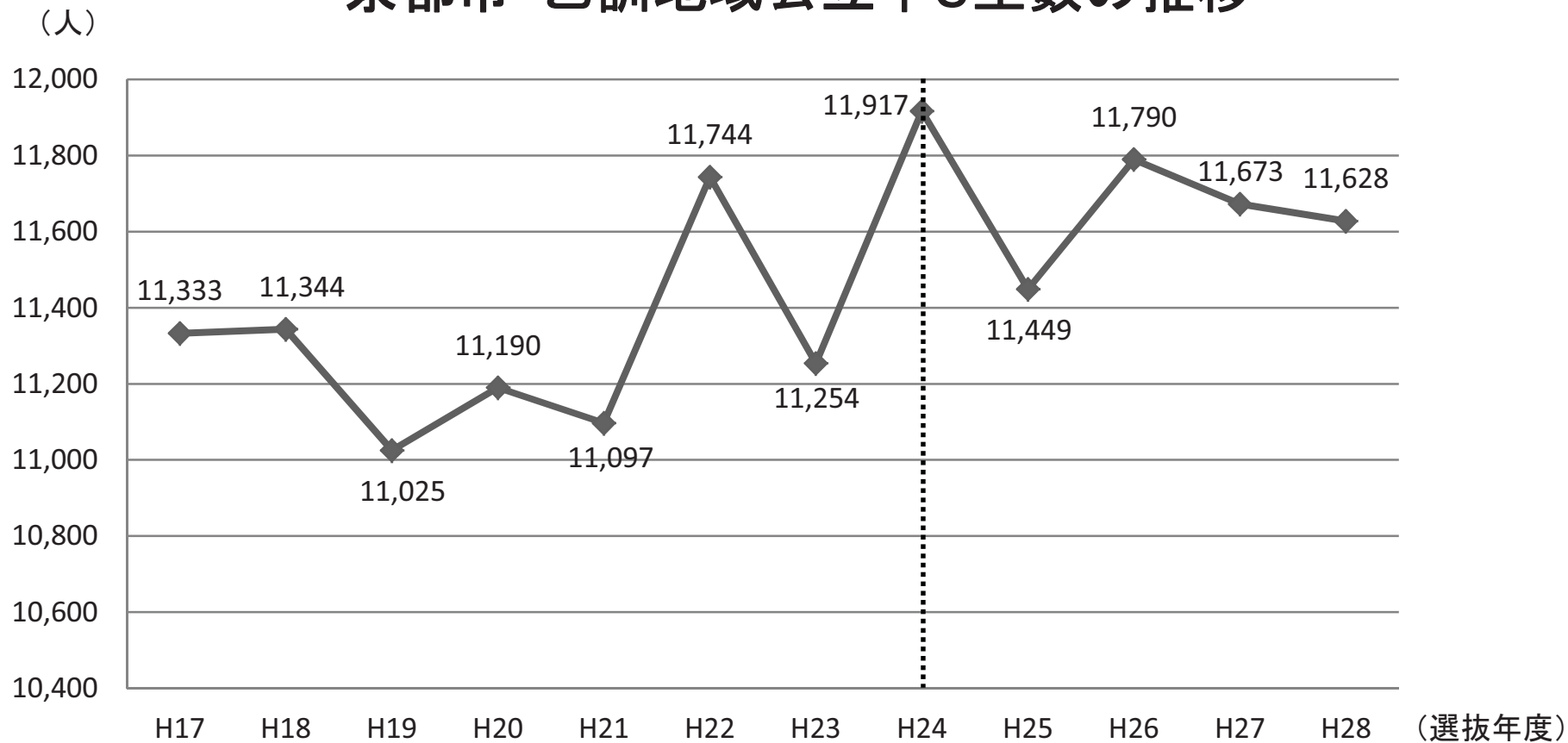
注1 高等学校は、国立・公立・私立高等学校を表す。また、通信制課程を含む。

注2 全国及び京都府は、国立・公立・私立中学校卒業生数を表す。

注3 H23.3については、速報値である。

学校基本調査(文科省及び京都府教委HP)より抜粋

京都市・乙訓地域公立中3生数の推移



注1 京都市・乙訓地域公立中学校には、周山中学校を除く。

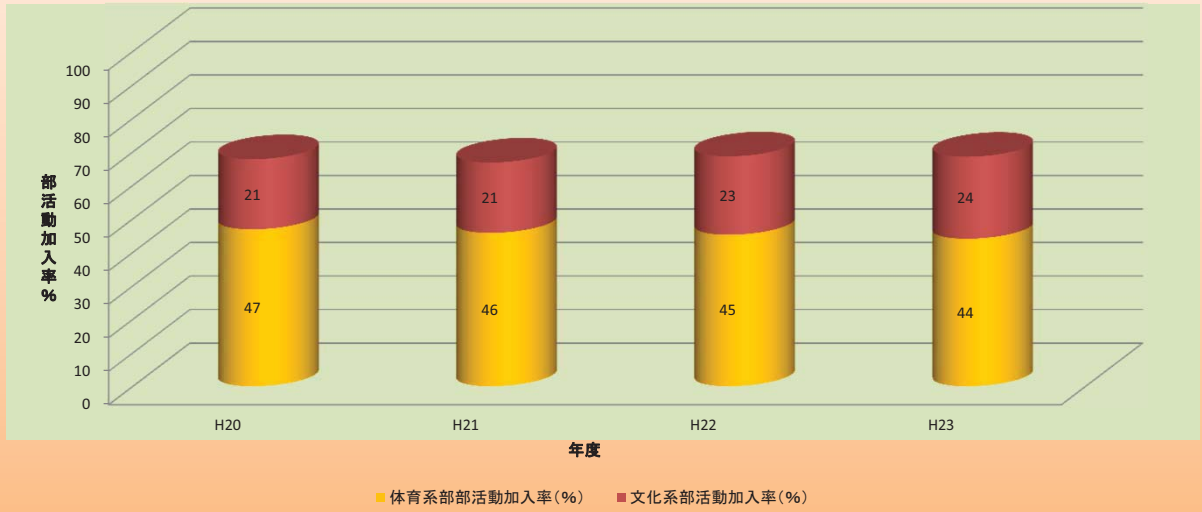
注2 H24については、速報値である。

注3 H25～H28については、各種統計により算出した推計値である。

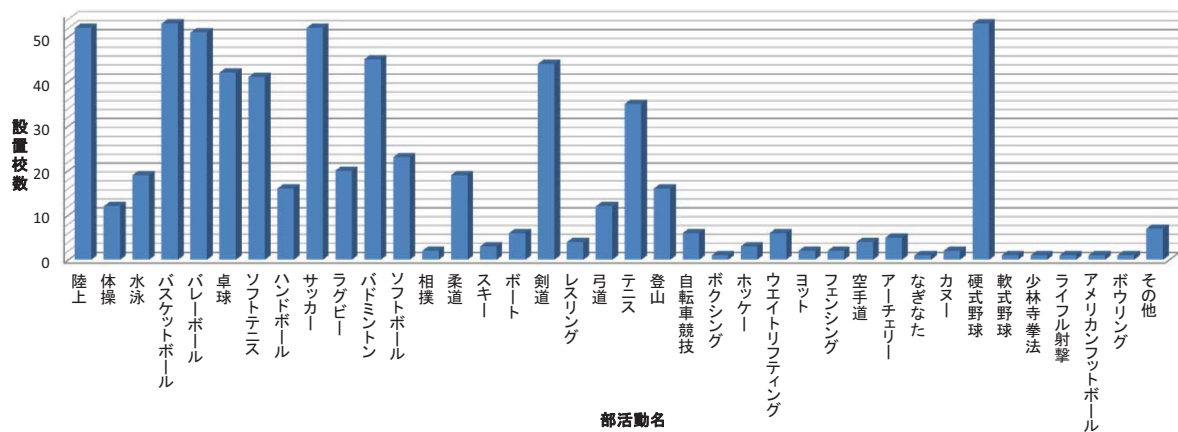
H17～H24については、学校基本調査(京都府教委HP)より抜粋

公立高等学校(全日制)部活動の概要

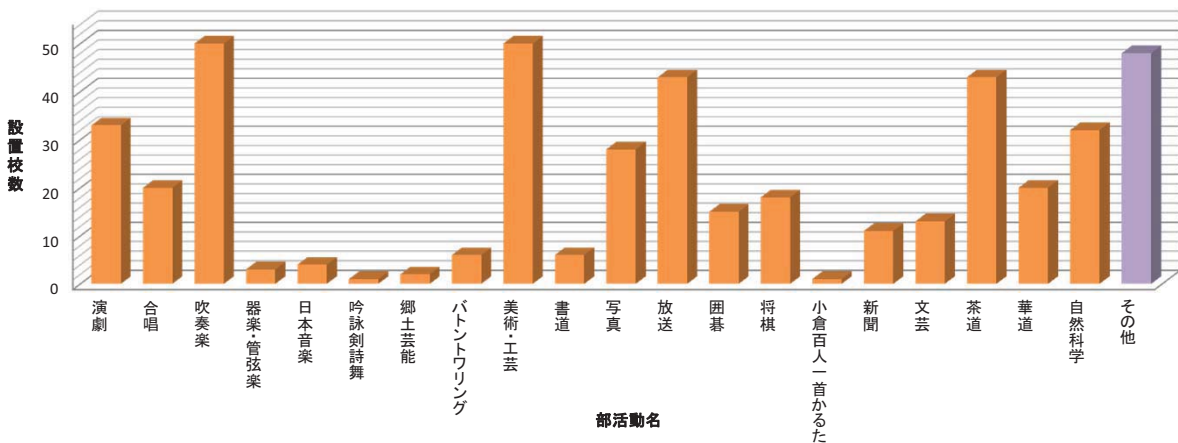
公立高等学校(全日制)生徒の部活動への加入率



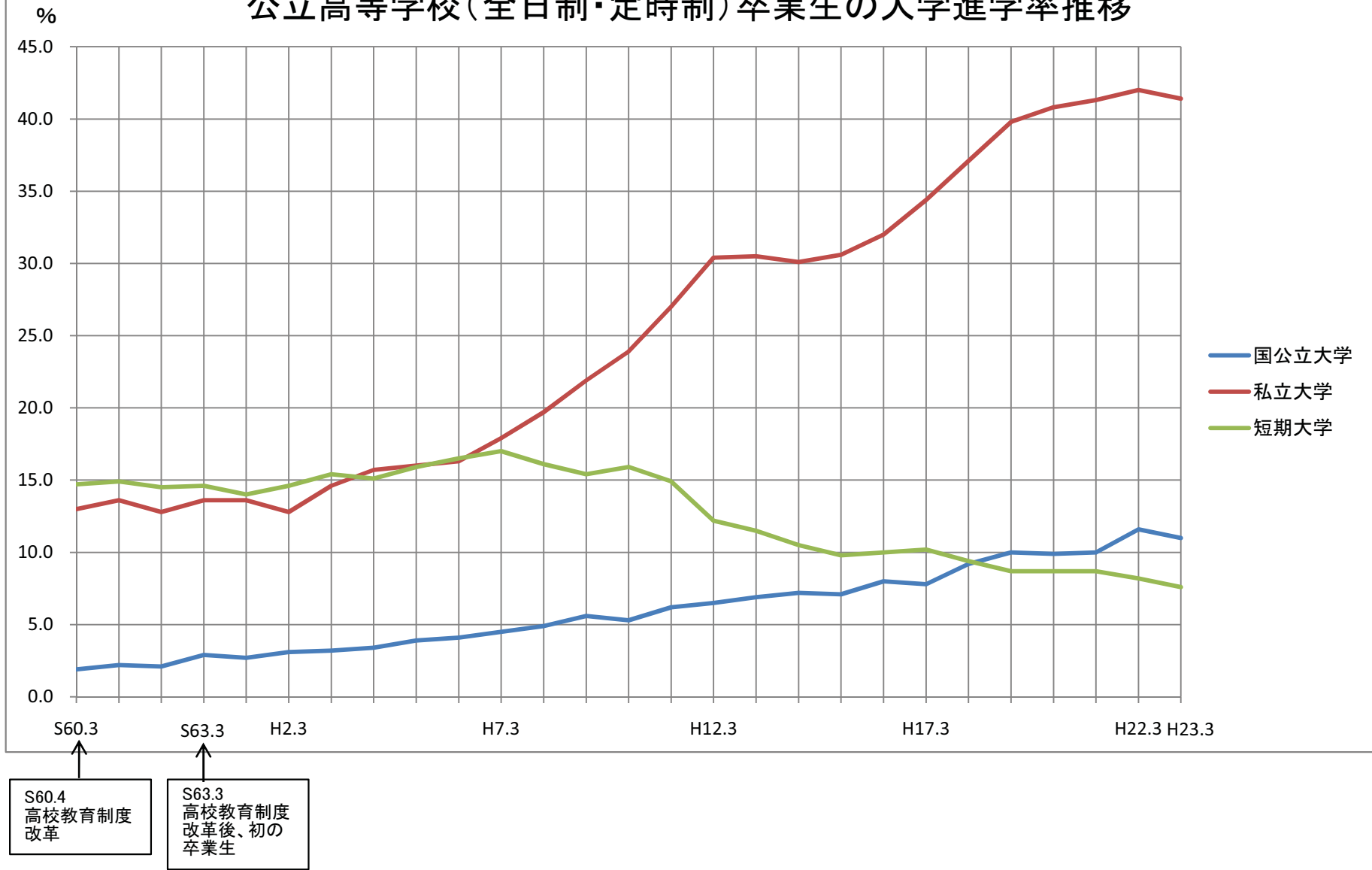
公立高等学校(全日制)体育系部活動設置校数 (平成23年度)



公立高等学校(全日制)文化系部活動設置校数 (平成23年度)



公立高等学校(全日制・定時制)卒業生の大学進学率推移



S60.4
高校教育制度
改革

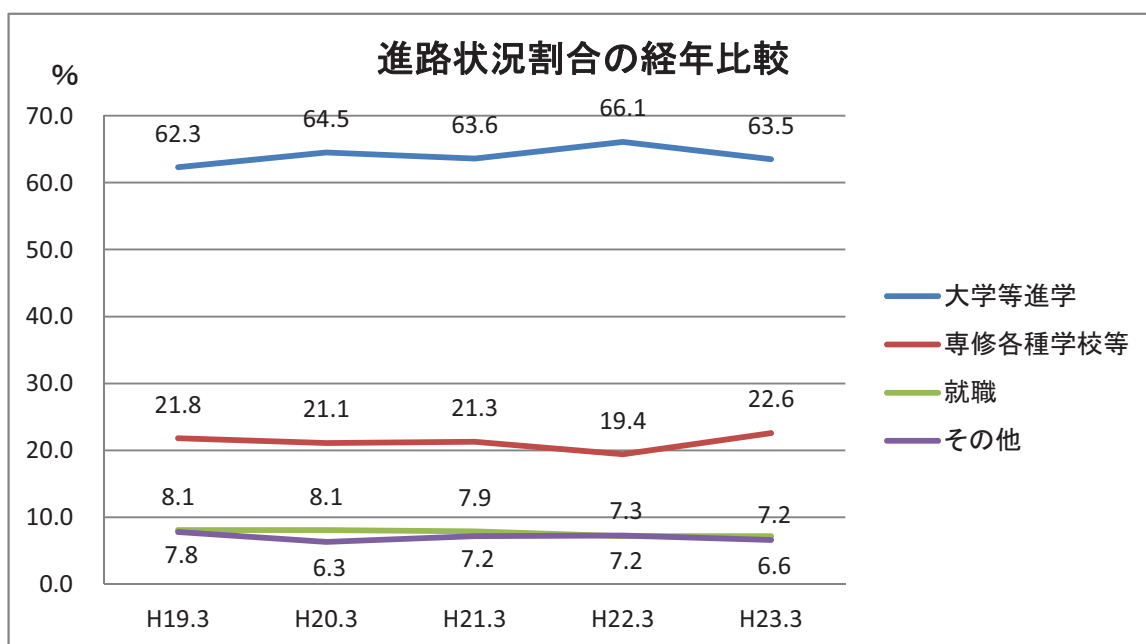
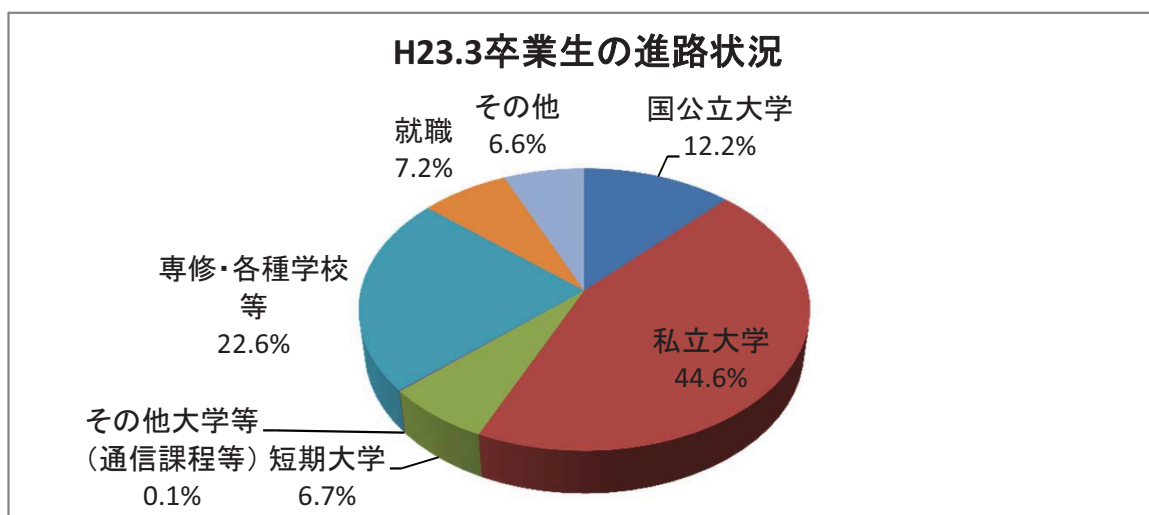
S63.3
高校教育制度
改革後、初の
卒業生

注 H23.3については、速報値である。
教育統計調査(京都府教委HP等)より抜粋

公立高等学校(全日制)卒業後の進路状況(京都市北・南通学圏)

(単位:人)

進路先		H19.3	H20.3	H21.3	H22.3	H23.3
大学等進学	国公立大学	808	771	769	892	842
	私立大学	3,141	3,062	3,046	3,055	3,067
	短期大学	544	528	545	476	458
	その他大学等(通信課程等)	4	2	7	4	4
専修・各種学校等		1,573	1,427	1,460	1,301	1,558
就職		587	546	543	480	499
その他		565	428	494	486	455
合計(卒業生総数)		7,222	6,764	6,864	6,694	6,883



注 H23.3については、速報値である。
 学校基本調査(京都府教委HP等)より抜粋